

●Eskind Biomedical Library

<http://www.mc.vanderbilt.edu/biolib/index.html>

受け取った資料:

Evidence Based Site: complex questions from VUMC Clinical Rounds. 1 p.

Evidence Based Site: administration. New question. Printout from the site. 2 p.

Evidence Based Site: administration. References. Printout from the site. 2 p.

Evidence Based Site: administration. Reports. Printout from the site. 1 p.

Jerome, R. Molecular biology: a part of daily life. MLA news 2002; 350: 13.

Junior League. Family Resource Center: a program of the Junior League Home. Vanderbilt Children's Hospital. Brochure.

Summary response for trauma delivered. CICS service packet delivered on Oct 24, 2002 with marked articles.

Williams, A.; Kou, Q.; Koonce, T.; Giuse, N. Applying knowledge management principles to the development of a multifunctional digital library. PowerPoint handout 6 p.

Williams, A.; Clark, J.; Day, K.; Davis, M. Eskind Biomedical Library's knowledge management tools. PowerPoint handout 6 p.

プリントした資料:

Evidence Based Site. Search results. Printout from the site. 2 p.

Evidence Based Site. Provide information on rectus sheath hematoma. Printout from the site. 3 p.

Evidence Based Site. Provide information on rectus sheath hematoma. Printout from the site in a printer friendly version. 2 p.

Evidence Based Site. Could you get us some evidence on the timing for the placement of a permanent pacemaker following a complete atrioventricular block?. Printout from the site in a printer friendly version. 2 p.

○図書館見学/ **Sandy Martin**(Assistant Director for Children's Hospital Services; Coordinator, Educational Services, Information and Education Services)

1 階

- ・ 貸出カウンター
- ・ コンピュータ 45 台(only for EBL resources)
- ・ ワイヤレス NW 接続(3 年前から)
- ・ 貸出しノートパソコンが 30 台

- ・ 利用の多い雑誌 300 タイトルの最新号の書架とリーディングスペース
- ・ 患者情報サービスデスク
- ・ トレーニングルーム(5年前に開設)
 - 14 台のパソコン
 - Classnet というシステムにより、講師と参加者の PC を切り替え制御して、講習会をすすめる
 - 教職員と学生を対象とした講習会が年間 300~400 開催される
 - 図書館員の研修も含む
 - 医学部、看護学部でも教える。カリキュラムに含まれている

2階と3階

- ・ 1970 年以降の雑誌書架。(これ以前は隣の **Medical Center North** ビルにあり出納式)
 - 未製本と製本版を一緒に配架しており、利用者に好評
- ・ **History of Medicine** の部屋
 - 担当者は **Mary Teloh** で、図書館員である
 - 医学古書 1 万4千冊と古い医療機器を収蔵
 - 最も古い本は、1492 年に発行された小児科のテキスト
 - 利用に供するために貴重本の複製版も用意している

○病院見学 / **Rebecca Jerome**(Assistant Director for Filtering and Evidence-Based Services; Co-Coordinator, Information Services, Information and Education Services), **Taneya Koonce** (Co-Coordinator, Web Team; Co-Coordinator, Information Services, Information and Education Services), **Sandi Martin**

Vanderbilt Medical Center <http://www.mc.vanderbilt.edu/index.html>

- ・ 648 床、医学生 400 人、看護学生 500 人、レジデントとフェロー600 人、教員 FTE で 1800 人 (*多少統計と異なる。下記参照)
 - Vanderbilt by numbers <http://www.mc.vanderbilt.edu/root/facts/bythenumbers.html>
- ・ ヘリコプター2 機を備え、年間 200 フライトを数える
- ・ キャンパス内に連邦政府組織の **Veterans Affairs** 病院とキャンパス外にも関連病院がある。
- ・ 関連病院へもデータベースサービスをするためにライセンスを拡大している。
- ・ MICU(Medical Intensive Care Unit): 最初に CICS サービスを開始したユニット。患者一人につき 1.5 人の看護師がつく。
- ・ NICU(Neonatal Intensive Care Unit): アメリカ南東部で最大。25-30 人の患児がいる。
 - 2 チームで診療にあたり、患児1人に看護師 1 人がつく。
 - 6つの ECMO(extracorporeal membrane oxygenation) * unit がある。

- CICS の担当図書館員は、重症患児の病室へも医療チームと同様の手洗い、消毒やガウンの着用などをして入室する。ワイヤレスでNW接続可能なベッドサイドの端末で検索をすることもある。
- 現在 4-6 階に位置する小児病院だが、180 床の新しい独立ビルを建設中であり、1 年後にオープン予定。Nunzia は、新しい小児病院内に図書館員を常駐させることを計画している。
- **Family Resource Center:** 小児科患者の家族のために無料の情報提供サービスを行う部署
 - Junior League Foundation(JLF)の助成によって 10 年前にスタート
 - ボランティアが JLF から派遣される
 - カナダなど外国のセンターともネットワークがある
 -

○情報提供サービス

1) 診療チームに対するサービス(Clinical Informatics Consult Service: CICS) / **Rebecca Jerome, Taneya Koonce, Sandi Martin**

<http://www.mc.vanderbilt.edu/biolib/services/cics.html>

- CICS は、1996 年 11 月に開始。Medical Intensive Care Unit から始めたのは、重症患者のためにいち早く情報が必要で、そのインパクトが大きいからである。
- 週 1 回、MICU では朝 6 時半から、PICU(Pediatric ICU)では 7 時半からの回診に図書館員が出席する。
- 週 3,4 件の質問があり、それに対して文献検索、フィルタリング、文献へのマーキング、サマリーの作成を行う。カバーシート(サマリーと文献リストを収載)とマーキングした文献のコピーとのセットを「情報パケット」と呼んでおり、平均 2 時間半から最長 10 時間ほどで完成させ、診療チームの人数分コピーして配る。文献はその重要度の高い順(あるいは日付順、適当なカテゴリー別)に並べている。
- 検索は網羅的に実施し、全ての可能な選択肢を示す。
- 法的な問題が起らないように、免責条項として「臨床判断の代わりになるものではない」というただし書きをカバーシートにつけている。
- ベッドサイドでワイヤレスの端末によりクイック検索を行うこともある。
- 現在 9 ユニット(Trauma ICU, MICU, NICU, PICU, Surgical ICU, Clinical Research Center, Psychiatry, Breast Cancer Tumor, Emergency Medicine)の病棟で行われている。
- レジデントが多く活用している。

2) 患者に対するサービス (Patient Informatics Consult Service) / **Sandi Martin, Peggy Westlake** (Assistant Director for Staff Training and Quality Assurance; Coordinator, Online Information Services, Information and Education Services)

<http://www.mc.vanderbilt.edu/biolib/services/pics/index.html>

- ・ 5年前に開始された Vanderbilt 病院の患者向け情報サービスで、患者向けのコレクション提供、情報提供サービス、パスファインダー構築の 3 種類がある。
- ・ 図書館 1 階に患者情報サービスのコーナーが設けられている。
- ・ 素人向けにわかりやすい資料(図書、ビデオ、パンフレット)のコレクションを患者用に用意している。
- ・ 情報提供サービスの申し込みは医師からくることもあるし、患者から直接くることもある。
- ・ 申し込みは図書館の患者情報サービス窓口のほか、電話、Web の申込フォーマットから可能である。
- ・ 依頼を受けてから 2 日以内に資料を集め、「情報パッケージ」にまとめて担当医師と患者の両方に渡す。これは医師と患者のコミュニケーションにも役立っている。
- ・ 多いときは 1 日に 4 件の申込がある。
- ・ NLM と学内の助成金を得て活動を行っている。
- ・ 患者情報サービスを始めるときに新しい人員は雇わなかった。現存のスタッフをトレーニングして担当させた。後に 1 人図書館員を雇った。
- ・ Pathfinders という一般向けの医療情報健康サイトを構築している
http://www.mc.vanderbilt.edu/biolib/services/pics/pathfinder_select.html
- ・ トピックの概要に、図書、ビデオ、臨床試験、診療ガイドラインなどのリソースのリストやサイトへのリンクなどをつけている。

3) 研究チームに対するサービス (Research Informatics Consult Service: RICS) / **Jeniffer Lyon** (Coordinator, Research Informatics Consult Service, Information and Education Services)

<http://www.mc.vanderbilt.edu/biolib/services/rics/index.html>

- ・ 研究者に対する生物医学情報サービス
- ・ 遺伝子・生物学情報に関する図書館内での講習、医学部での授業、実験室でのサポートなどを行う。
- ・ Hot Topic Alert というカスタマイズされた SDI(Selective Dissemination of Information)サービスもしており、様々なフォーマット(Reference Manager や EndNote などのファイルなど)で情報提供している。
- ・ 担当の Jeniffer は分子生物と図書館学の修士号を持っている。
- ・ 分子生物学分野の図書館員の内部でのトレーニングには 3 段階ある。
 - 入門コース
 - 上級コース: Jeniffer が講師を務める 10 週間(3 週間の科目+7 週間のデータベース演習)のモジュール
 - 実地トレーニング

- ・ NCBI(National Center for Biotechnology Information)でのトレーニングも参加する。
- ・ 分子生物学関連のデータベースは 2002 年 1 月時点で 281 ある。(Nucleic Acid Research featuring databases の初号に毎年掲載されるリストによる)

4) HealthSeek*

<http://www.mc.vanderbilt.edu/biolib/consult/index.html>

- ・ 学外者(医師、弁護士、保険会社、マネジドケア会社、非営利団体等)対象のパーソナライズ情報サービス
- ・ Web 申込み可
- ・ 質問に応じたパケットの作成、MEDLINE 講習、健康情報の探し方講習など。
- ・ 1 時間あたり 55ドルの 料金とデータベース利用料金などを課金。

(*現地では未見。帰国後 Web で発見)

○ウェブによるサービス

- 1) デジタルライブラリー / **Annette Williams** (Assistant Director for Knowledge Management; Co-Coordinator, Web Team) , **John Clark**(Health Systems Analyst Programmer, Web Team), **Sandy Martin**

<http://www.mc.vanderbilt.edu/diglib/>

- ・ 以前から存在していたリソース利用のページを 1 年前に改訂。すべての人向けのポータルサイトで、統一したフォーマットのページからあらゆる医療情報へのアクセスを可能である。
- ・ 開発、維持は 5 名(サーバ管理1名にプログラマー; うち 2 名は Information Systems 兼任)のウェブチームが担当しており、その他マトリックスで様々な担当部署が下記のように関与している。
 - コレクションデヴェロップメント担当がコンテンツ
 - レファレンス担当が利用インターフェース
 - カタロガーが情報の組織化
 - ウェブチームが技術
- ・ 2500種類の電子資料(2000タイトルの電子ジャーナル、図書、データベース)が利用可能で、無料サイトへのリンクも始めている。
- ・ 初期ページは、最もよく使われる電子ジャーナルのアルファベット順リスト(Electronic journal のボタンをクリックしたのと同じページ)
- ・ 各資料の”i”をクリックすると資料別の記述が Briefと Full の 2 種類で表示される。
オンライン目録の書誌記述とは別に MySQL, PHP, Perl を利用したデータベースを維持している。
タイトル、フォーマット、バンドルのタイトル、内容(収録年代)、主題(76 のカテゴリー)、利用対象者層、画像の有無、電子リソースに特有の事項(パスワードや必要なソフトウェアなど)

- ・ ほとんどのリソースはプロキシでの認証だが、一部例外的にパスワード認証のものがある。

<ボタンによるリスト表示>

- ・ すべての電子リソースのアルファベットリスト
- ・ 資料形態別アルファベットリスト: 電子ブック; 診療システム; データベース
- ・ 主題別リスト リソース記述の主題で使われている荒い主題ごとのリソースリスト
- ・ コレクション別リスト 電子ジャーナルのバンドル商品など、コレクションごとのリスト
- ・ オンライン目録 **ACORN: SIRSI** システムの **UNICORN** の進化形で、**Vanderbilt** の他の図書館と共通。電子ジャーナルへのリンクもあり。(*様々な視点からのアクセスがあるのが良い)
- ・ **DDS** サービス
独自の **ILL** システムを開発。**MyVandy** に登録することにより、**ILL** の申込がウェブでできる。
PDA 版も開発中。

<他のサービスへのリンク>

- ・ 医師一覧
- ・ 新タイトル一覧
- ・ **Ask ELIS (the Eskind Library Information Specialist): SearchDoc** と **The Library Information Desk** の2つのサービス提供受付
 - **SearchDoc:** データベース検索に関する相談窓口。ウェブで受付け、メールで回答。
 - **The Library Information Desk:** その他の質問窓口。ウェブで相談を受付け、24 時間以内にメールで回答。ライブラリアンは、13 週間ごとにこのオンコール担当になり、申込があるとポケベルで呼び出される。当番中に平均して4~5 回相談を受けている。
- ・ **Site of Interest: Evidence Based Site, Training Schedule, Learning Site** へのリンク
 - **Evidence Based Site:** 回診で受ける質問の 25%は同じ内容だったという分析から、CICS で対応した複雑な質問について、回答、フィルタリングを施した文献リストとサマリーを掲載して再利用できるようにしている。文献リストには全文へのリンクがはられている。内容は 6 ヶ月ごとに更新しており、管理システムにより更新期日が表示される。サマリーは医師 (**Dr. Randy Miller** や **Public Health** の医師など) にチェックしてもらっている。学内のみの利用。
 - **Training Schedule:**
 - **Learning Site:** 電子リソースや書誌マネジメントソフトウェアなどの **Web** ベースオンラインチュートリアル
- ・ コメント、提案、質問フォーム

<その他のリソース、サービスへのアクセスツール>

- ・ タイトルキーワードサーチ、上級サーチ(タイトルキーワード、主題カテゴリー、資料形態)
- ・ クイックリンク(利用頻度の高い順のドロップメニューによる)
- ・ パーソナライズによるクイックリンク集作成

2) Knowledge Management Tools / **Annette Williams, John Clark**

<http://www.mc.vanderbilt.edu/kmt/learning/>

- ・ 個々の研究者が持つ再利用可能な知識や情報を、蓄積して共有するためのツールサイト
 - Learning Module Shell: オンラインチュートリアル作成ツール。画像つきテキストを作成できる。
 - Online Directory Template: サーチツールを通じてアイデアを共有できる (Informatics Center と共同で開発中)
 - News Publishing Shell: HTML と MS-Word でニュースを作成するツール (開発中)

3) 管理ツール

- ・ デジタルライブラリーなどのコンテンツの作成、維持のために管理ツールを用意している。
- ・ 基本的にフォームにコンテンツを入力、または貼り付けることで反映される。

○図書館員のトレーニング

- ・ Nunzia の方針により図書館員の継続的なトレーニングに力を入れている。
- ・ 数多く実施している講習のための **teaching skill** も、図書館員全員がトレーニングを受け、身につけている。
- ・ 図書館員全員 (4 名のインターンを含む) が CICS サービスのために看護学校のコースを受ける。解剖学、生理学は必須、上級生理学や薬理学、医学用語のコースを受けることもある。
- ・ Search Talk および FTC (Filtering Training Conference) によって図書館員同士で検索技術を向上させる努力をしている。
- ・ Sandy のように経験豊富な図書館員と一緒に働くことによって実地で学ぶことも多い。
- ・ 回診によって学ぶことも多い。
- ・ Ground rounds も研修の目的で図書館員に開放されているので、異なったプログラムのラウンドに、月に 1, 2 回 (研修中の若手図書館員は毎週) 参加する。
- ・ 医師からのフィードバックから学ぶことも多く、作成したサマリーをもとに、Biomedical Informatics の Randy Miller (MD) の指導を受けることもある。
- ・ RICS には、内部研修として 3 レベルのトレーニングコースがあり、上級コースでは 3 週間が科目、7 週間データベース検索の計 10 週間を Jennifer が教える。さらにオンザジョブトレーニングがトップレベルの研修として位置付けられる。また外部研修として、NCBI (National Center for Biotechnology Information) で行われるコースにも参加する。

2002.11.6 National Library of Medicine (Bethesda, MD)

National Library of Medicine <http://www.nlm.nih.gov>

Extramural Program + Informationist / **Dr. Valerie Florance** (Program Officer, Division of Extramural Program)

関係サイト:

Overview of Extramural Programs: fact sheet (Sep 18, 2002)

<http://www.nlm.nih.gov/pubs/factsheets/extrapro.html>

Integrated Advanced Information Management Systems (IAIMS) grants: fact sheet (June 27, 2002)

<http://www.nlm.nih.gov/pubs/factsheets/iaims.html>

Valerie Florance, PhD biosketch <http://www.nlm.nih.gov/ep/bio-florance.html>

Valerie Florance, M.A., M.L.S., Ph.D. In: Informationists Conference, April 4-5, 2001, Bethesda, MD. Speakers and facilitators. <http://mlanet.org/research/informationist/speakers.html#8>

受け取った資料:

Florance, V.; Masys, D. Next-Generation IAIMS: binding knowledge to effective action. Association of American Medical Colleges, 2002. 50 p.

Florance, V. Fundamentals of NLM grants. [2002] PowerPoint handout 4 p.

Updating IAIMS. PowerPoint handout 1 p.

2002 IADL Grant profiles 1 p. / Internet Access to Digital Libraries (IADL) – RFA LM 02-001 [2002] 2 p.

NLM の IAIMS 以外のグラント

- ・ 2002 年度の助成金は 4750 万ドル(約 57 億円)である。
- ・ 2000 年の長期計画に基づき、人材育成のためのフェローシッププログラムを用意している。
 - 1 年間の学習、または 1 年の実地研修を加えた最長 2 年間のプログラム。
 - 対象分野は、臨床、研究、公衆衛生、Consumer Health Information の 4 種類。
 - 年間 58000 ドルの助成
 - レポートの提出が義務付けられている
 - 対象者の選定には 9 ヶ月を要する。
- ・ Information System Grants
 - 期間は 3 年間で更新不可、年間 15 万ドル(約 1800 万円)程度まで助成される。
 - 使い道に制限はない。
- ・ IADL(Internet Access to Digital Libraries)grants

- 医療機関がインターネットを通じて質の高い医療情報にアクセスするのを助成する
- 2002 年は 112 件の応募があり、30 名の審査メンバが 2 日間を費やして選考を実施、結果、約半数が助成を受けた。(NIH の科学研究は 15-20%)
- 審査は地域、人種に偏りのないよう考慮して行われる。
- 図書館の関与も考慮の一要素である(例. NYPL の CHI プログラム)

IAIMS (Integrated Advanced Information Management Systems)

- The Next Generation IAIMS Report 以後に内容がまったく変更となった。
- 最初の IAIMS は、AAMC(米国医学校協会)にレポートの作成を依頼し、"Integrated Academic Information Management Systems"として開始されたため、学術研究機関の医療センターが中心となっていたが、現在は異なるタイプの関連機関にも門戸を広げている(シカゴのセントポール病院や、教会や地域をベースとしたコミュニティなど)。看護・薬学・保健分野の情報は関連がありながらも統合されず独立したままであったという問題もあった。
- 以前の IAIMS は、統合システム実施のための機関内の組織作りなど基盤整備が主体であったが、新 IAIMS はコンテンツに重点を置き、あらゆるコンテンツを対象としている。(例. EBM の実践, 科学研究, 統合システムとしてのデジタルライブラリー, 情報マネジメントのポリシー作成 など)
- 以前の IAIMS は図書館が機関の中心と想定されていたが、現在は必ずしもそうではない。
- 2 段階(planning, implementing)から 5 段階(planning, implementation, operation, testing and evaluation, pilot study)に変更し、別途 IAIMS Fellowship も設けた。
- 以前の IAIMS-Apprenticeship の助成は IAIMS 機関のみ対象であるが、Fellowship は IAIMS そのものの助成とは別の枠組みとなった。
- Operation 段階で毎年 50 万ドルを最長 5 年間だった助成金を毎年 40 万ドルで最長 4 年として、より多くの機関が助成を受けられるようにした。
- Testing and evaluation や Pilot study では、小規模な実験的プロジェクトが可能である。(例.ワイヤレス接続を病院全体に適用する前に、一部門のみ導入するなど)
- Testing and evaluation は、経験を共有してベストプラクティスを追及するためのケーススタディが可能で、100ドルの助成をしている。
- 機関内の部署同士の「情報のサイロ状態」を解消するという最初の IAIMS の趣旨は変わっていない。

全般・質問

- 助成の成果をどのように評価するのか?
 - NIH のディレクターの質問とまったく同じである。NIH 予算はこの 5 年間に倍になったが、それに見合う成果があったのかどうか明確な答えは出ていない。
 - 助成をした機関には最終報告書の提出が義務付けられている。

[Cf. NN/LM (The National Network of Libraries of Medicine) の RML (Regional Medical Library) は NLM と契約を交わして NLM の指示した目的のもとに事業を遂行しているため、助成を受けた機関がその目的のために活動する助成金事業とは評価基準が異なる]

- 良い結果報告はあったか？
 - ハワイで、20 の島をつなぐヘルスケアのためのビデオ会議システムを導入し、患者数が減ったという報告があった。
- 助成期間が終わった後、どのように導入したものを維持するのか？
 - 機関が独自で予算を確保するか、他の助成金を探すことになる。
- 助成金の使途は？
 - 研修、機器のリース、人件費、旅費、コンサルトなどに幅広く使える。
 - 80% は人件費に使われる。
 - 非直接的経費、たとえば家具やスペース(賃貸料、土地)のためには原則使えないが、CHI (Consumer Health Information) センターのための改装費用など、可能な項目もある。
 - 非直接経費はまったく認められていなかった。
- 助成の選考プロセスは？
 - 年に3回しめきりがある。
 - 公平さを保つためにピアレビューが行われる。
 - NIH 助成金の共通窓口へ提出された応募書類は、基本的な書類チェックの後、以下の手順で審査される。
 - ◇ 第1回選考委員会 - 基準に沿ったコメント作成、概況報告作成、点数つけ
 - ◇ 助成対象となる可能性があるが、プロポーザルの改良が必要なケースには、概況報告と一緒に書類を返送し、候補者に応募書類の改訂、再提出を要請する。
 - ◇ 第2回選考委員会 - 理事が検討する。通常は第1回選考委員会の結果と一致するが、くつがえすこともできる。
- 採用率は？
 - IAIMS, Information Systems: 25-50%。(再提出により50%となる)
 - Scientific Research : 20%以下
 - ◇ Small business : 10%以下 (例. コロンビア大学とワシントン大学は、診療記録に文献のフルテキストリンクをつけるためのグラントを受けた。プロバイダごとに異なるインターフェースの統一ができないことで困難が生じている。)

Informationist について

- ネーミングは問題であるが、既存の専門職名と区別できる名称が必要であった。
- "clinical information knowledge worker"も候補であったが social worker に似ていることから

却下となった。ほかに似た既存の名称に **hospitalist, informatician** などがある。

- ・ 名称はどうあれ、そのサービスを提供する職務を担う人が必要である。
- ・ 機関によって異なるモデルを持っている。
- ・ 教育プログラムを確立するためには、先にその職務内容を確認する必要がある。
- ・ 図書館員に **Science** を教えるのと、医療従事者や科学研究者に情報学を教えるのとどちらがいいのか、模索中である。
- ・ 看護婦や医師が **Informationist** になるとしたら **cross training** をだれがするのか。MLA, AMIA などの団体、情報学プログラム(以前の図書館学校)、学術医療センターなどに可能性がある。現在はまだ実施されていない。
- ・ 教育のための遠隔プログラムも考慮に入れている。
- ・ NIH の **Informationist** 募集に対し 100 以上の応募があったそうである。
- ・ Johns Hopkins 大学では **Journal Club**(抄読会)のテーマに 1 年間 **Informationist** を採択しているそうで、NLM の助成金に応募する予定だ。

MEDLINEplus / Ms. Naomi Miller (Systems Librarian, Public Services Division)

関係サイト:

MEDLINEplus <http://medlineplus.gov/>

MEDLINEplus: fact sheet (Sep 25, 2002) <http://www.nlm.nih.gov/pubs/factsheets/medlineplus.html>

受け取った資料:

MEDLINEplus. Brochure. April 2002.

MEDLINEplus: Web site - Topic review (Reviewer) 管理画面プリント

MEDLINEplus: Web site - Topic review history 管理画面プリント

MEDLINEplus のリンク先の選択基準

- ・ 政府や専門団体など信頼できる機関が作成したもの。
- ・ 患者のものや団体サイトは採用しない。
- ・ MD が内容をチェックしているか。(ノーベル賞博士がいても、医学博士でないと意味がない)
- ・ その分野の専門家がサイトの作成に関わっているか。専門家かどうかは、それに関する論文や専門書を出しているかで判断するが、電話をかけて確認することもある。
- ・ 内容更新が適宜行われており、更新日が明示されていること。
- ・ ナビゲーションが適当である。
- ・ 有料サイトへつながらない。
- ・ 個人情報の登録が必要なサイトにつながらない。
- ・ 広告が多過ぎない。
 - 内容と広告の区別がつかないのは良くない。Spine.com は悪い例
- ・ 営利団体からのサポートを受けていない。
- ・ リンク切れが少ない。

統計

- ・ 現在 570 ページ分の情報を掲載している。
- ・ 現在 512 機関のサイトへリンクをはっている。
- ・ 2001 年に 280 サイトから MEDLINEplus からのリンク登録の希望があった。
- ・ これまでに 1,267 サイトの評価をおこなってきた。却下されたサイトに対してはその理由を知らせており、その後基準に合うよう変更された場合、採用している。

評価作業

- ・ 少なくとも6ヶ月ごとに内容をチェックしている。採用当初はなくても急にポップアップコマercialなどを入れるサイトもあるので注意している。
- ・ 2002年3月に稼働した管理システムにより、自動的にチェックが必要なページがマークでわかる
- ・ サイト評価について、誰がいつどのような作業をしたか、またサイトに変更があった時の記録をつけている。

人的資源

- ・ サイトの作成は4人のスタッフで始めた。その後3人を新規に雇った。Miller氏は最初他のこともやっていたが、最近はサイト管理の仕事でめいっぱいである。
- ・ 4FTE(のべ20名)が契約により作業に従事している
- ・ 1FTEがリンク切れにかかりきりである。
- ・ ほかにたくさんのプログラマーが従事している

分野

- ・ alternative medicine にはリンクしていない。
 - 政府組織(National Center for Complementary and Alternative Medicine)もできたが、Clinical Trials による証明には時間がかかる。
 - 優先順位は低い。

認定

- ・ HON(Health On the Net Foundation) は自己評価による認定で位置付けは高くない
- ・ MEDLINEplus は URAC(American Accreditation HealthCare Commission)による認定を受けた最初の政府組織サイトである
 - URAC 評価は52の質問に答える形で行われ、インタビューも実施される

* Health On the Net Foundation. <http://www.hon.ch/>

* American Accreditation HealthCare Commission. <http://www.uran.org/>

Interactive Health Tutorial:

- ・ 読解レベルの低い人向けの健康情報提供システムを X-Plain(会社)と共同で作成した。文字を少なくし、絵や音声によるガイドを入れている。
- ・ 読解レベルは6-8年生レベルとしている。(Cf. 最低は5年生レベル、雑誌記事は11年生レベル)
- ・ Miller氏は当初こんなレベルの低いものは必要ないと考えていたが、多くの反響があり考えを変えた。利用者のフィードバックから、このサイトを見た10人のうち9人は満足しており、1人は不満であるということがわかった。

評判:

- ・ 好意的な意見と批判の両方が寄せられる
- ・ 医師と一般の両方からコメントなどが寄せられる
 - 医師も専門外の分野の情報を参照している
 - 技術的なトラブル、ミススペルの指摘
 - 医療質問(もちろん、これには答えられないことになっている)

National Network /Libraries of Medicine /(NN/LM)

Dr. Angela B. Ruffin; Dr. Keith W. Cogdill (NN/LM National Network Office)

関係サイト:

National Network of Libraries of Medicine <http://nmlm.gov/>

National Network of Libraries of Medicine: fact sheet (Oct 8, 2002)

<http://www.nlm.nih.gov/pubs/factsheets/nmlm.html>

Outreach Programs: fact sheet (Sep 25, 2002) <http://www.nlm.nih.gov/pubs/factsheets/outreach.html>

受け取った資料:

The National Network of Libraries of Medicine. Brochure. June 2001.

The National Network of Libraries of Medicine. And the NN/LM National Network Office.
PowerPoint file. Nov 6, 2002

歴史:

- ・ 1965 年
 - 戦後の医学図書館の荒廃ぶりを憂慮したレポートが議会に提出され、Medical Library Assistance Actが議会を通過。Regional Medical Library Programとして11地域に資金提供をスタート。その使い道に制限を設けなかった。1967年から実稼動。
- ・ 1982 年
 - 予算削減により Regional Medical Library (RML)を7館に減らす。
- ・ 1991 年
 - 地方の医学医療情報に関するレポートが提出され、NLM Board of Regents Planning Committee が追加資金を決定。Outreach programが発足する。
 - National Network of Libraries of Medicine (NN/LM)に名称変更

予算:

- ・ NLM への予算は 1967 年の数百ドルから 2002 年の 1,150 万ドルに大きく上昇した。
- ・ 新規プロジェクト、プロジェクト強化などで新たな人員が必要になるたびに予算が大きく上昇。

メンバー:

- ・ Member libraries: 4700
 - Resource Libraries: 145
 - Regional Medical Libraries: 8
 - NLM は Last resort として頂点に位置する

- ・ メンバはすべて登録制である
- ・ RML は NLM との契約 (5 年) で、競争の上決定する。
 - RML 選択のプロセスは期間満了の 1 年前から始まる。今年は 2 地域で入れ替わり。
 - RML 8 館のうち 6 館が医科大学図書館 (UMD, UW, UCLA, UIC, Utah, UMass) 、2 館がアカデミー (学士院) (i.e., NY Academy of Medicine, Houston Academy of Medicine)
 - RML の長は機関の長と等しい
- RML スタッフの給与の資金源は、NLM から予算と機関の人件費のいずれか、あるいは両方など、RML が決定する。
 - RML の予算は毎年の交渉で決定。現在は予算残を次年度へ繰り越せる。
- ・ AHEC (Area Health Education Center) もメンバになっている。
 - AHEC はノースカロライナ、アーカンソーなどで盛んであるが、全州に存在するわけではない。

一般へのサービス:

- ・ 1997 年の PubMed 公開後、一般の人々の利用が占める割合が全体の約 3 割と NLM の予想よりも多いことがわかった。これにより、公共への情報提供を強化する方針を固めた。MEDLINEplus の構築もその流れのひとつ。
- ・ 1998 年までは公共図書館にサービスを行っていなかった。NLM は pilot study を行い、公共図書館の司書が consumer health に関する問合せにどのように回答しているかを調査した。公共図書館員とネットワークメンバー館員を比べた結果、公共図書館員にはもっとトレーニングが必要であるということがわかった。

Wood, FB; Lyon, B; Schell, MB; Kitendaugh, P; Cid, VH; Siegel, ER. Public library consumer health information pilot project: results of a National Library of Medicine evaluation. Bull Med Lib Assoc 2000; 88(4): 314-322.

2002.11.7 National Institutes of Health Library

Suzanne Grefsheim, Branch Chief

Barbara Brandys, Leader, Information Services Team

Susan Whitmore, Chief of Information & Education Services Section

Pamela Sieving, Reference Librarian

関係サイト:

NIH Library <http://nihlibrary.nih.gov/>

Vacancy announcement. Technical Information Specialist (Informationist)

http://careerhere.nih.gov/CHPublic/HRShowVac.taf?&VACANCY_uid1=12095

Vacancy announcement. Librarian (Medical / Biological Science) (Supervisory)

http://careerhere.nih.gov/CHPublic/HRShowVac.taf?&VACANCY_uid1=12481

受け取った資料:

Access to the NIH Library and its collections. Brochure. Aug 2002.

Consult services. Brochure. July 2000.

Document delivery: books, articles, patents, AVs ... Brochure.

Online services. Brochure. Aug 2002.

Network information resources. Brochure. July 2000.

Instructional services. Brochure. Sep 1, 2001.

NIH Library electronic resources training. Brochure. Fall 2002.

NIH Library E-mail list sign-up sheet. Form.

Informationist service: support your clinical research team with exceptional information services.

[Marketing sheet]

Salary table 2002-DCB. Effective January 2002.

Vacancy announcement. Technical Information Specialist (Informationist). Printout from the site.

Vacancy announcement. Librarian (Medical / Biological Science) (Supervisory) Printout from the site.

2002-2003 FAES Graduate School at NIH: catalog of Graduate and Undergraduate courses. Bethesda, MD., Foundation for Advanced Education in the Sciences, Inc., 2002. 55 p.

Introduction to molecular biology information resources: Medical Library Association (MLA) CE course. Printout from the site at: <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/Class/MLACourse>

NIH calendar of events (yellow sheet).

The NIH Catalyst 10(5), Sep-Oct 2002. 16 p.

Clinical Center news Nov 2002. 7 p.

2002.11.7 National Institutes of Health Library

Suzanne Grefsheim, Branch Chief

Barbara Brandys, Leader, Information Services Team

Susan Whitmore, Chief of Information & Education Services Section

Pamela Sieving, Reference Librarian

関係サイト:

NIH Library <http://nihlibrary.nih.gov/>

Vacancy announcement. Technical Information Specialist (Informationist)

http://careerhere.nih.gov/CHPublic/HRShowVac.taf?&VACANCY_uid1=12095

Vacancy announcement. Librarian (Medical / Biological Science) (Supervisory)

http://careerhere.nih.gov/CHPublic/HRShowVac.taf?&VACANCY_uid1=12481

受け取った資料:

Access to the NIH Library and its collections. Brochure. Aug 2002.

Consult services. Brochure. July 2000.

Document delivery: books, articles, patents, AVs ... Brochure.

Online services. Brochure. Aug 2002.

Network information resources. Brochure. July 2000.

Instructional services. Brochure. Sep 1, 2001.

NIH Library electronic resources training. Brochure. Fall 2002.

NIH Library E-mail list sign-up sheet. Form.

Informationist service: support your clinical research team with exceptional information services.

[Marketing sheet]

Salary table 2002-DCB. Effective January 2002.

Vacancy announcement. Technical Information Specialist (Informationist). Printout from the site.

Vacancy announcement. Librarian (Medical / Biological Science) (Supervisory) Printout from the site.

2002-2003 FAES Graduate School at NIH: catalog of Graduate and Undergraduate courses. Bethesda, MD., Foundation for Advanced Education in the Sciences, Inc., 2002. 55 p.

Introduction to molecular biology information resources: Medical Library Association (MLA) CE course. Printout from the site at: <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/Class/MLACourse>

NIH calendar of events (yellow sheet).

The NIH Catalyst 10(5), Sep-Oct 2002. 16 p.

Clinical Center news Nov 2002. 7 p.

Informationist サービスの現況:

- Allergy Institute, National Cancer Institute, National Eye Institute で Informationist のサービスを実施している。
- たとえば Allergy グループは、6ヶ月前に開始したばかりであるが、週3回、午前10時から12時までの回診に参加している。
- 回診のメンバは、研修医、フェロー、契約医師、看護婦、ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師など約25名で構成される。
- PDA は特に薬剤情報を得るのに便利でよく使っている。どのように情報を提供するかは、リクエストの性質によって違ってくる。
- 電子デバイス利用の援助も行っている。
- National Cancer Institute では回診ではなく、週1回のカンファレンスに参加している。
- National Eye institute も患者のベッドサイドではなく、週1回水曜日午後のカンファレンスに参加して、どちらかというと研修医の教育としての文献提供に協力している。
- 臨床試験のプロポーザルの段階での協力も行う。
- Eye research 分野では、コクランコラボレーションの活動にも契約して参加している。
- 現在は文献検索のリスト、フルテキストの供給をしているが、将来的にフィルタリングのサービスも追加していく予定である。
- 新しいサービスを展開するには時間とスペースが問題である。
- NIH 内でもサービスは有料で、回診、カンファレンスへ参加する時間について60ドル/時間を課している。

Informationist の確立:

- レファレンスデスクからレファレンスライブラリアンをなくし、Informationist など他のサービスに充当している。
- Informationist の教育プログラムは開発途上で、下記を検討している
 - 雇用と現スタッフの再教育、両方のアプローチから Informationist の確立を目指している
 - 科学研究者については Library School へ通わせることが考えられる。
 - 図書館員は、臨床チームへ送り出す、基礎医学研究者との共同業務、メンターをつけるなどがある。また、NIH 雇用者を対象とした大学院レベルの単位取得プログラム(学位は取得できない)FAES(Foundation for the Advancement of Education and Science)の科学研究のコースも利用できる。
 - 図書館員でEBMに基づく情報検索に詳しい Ann McKibbon (McMaster 大学)に1週間のセミナーを実施してもらい、すべての視点の文献検索とフィルタリングについて学んだ実績がある。
- どんなバックグラウンドを持つ人がどのようにサービスするのが最も効果的かを模索している。
- Informationist になるまでにどれくらいの時間がかかるかはまだわからない。

- ・ Informationist サービスの今後については、臨床臨床部門の長に会い彼らの興味について話を聞いている。
- ・ Clinical librarian は臨床現場での observer であるが、informationist は臨床チームに参加するという点が異なっている。
- ・ 有料サービスなので、Cost Recovery の見地からも評価可能である。
- ・ その他、Pretest/Posttest による評価や、コンサルタントによる評価も考えられる。

Informationist の新規募集:

- ・ 100 人を超える応募があり、外国の MD を持つ応募者もいる。
 - ・ 2種類の募集を実施した。
 - 科学系のバックグラウンドを持つ図書館員 4 名
 - Technical information の専門家 4 名
 - ・ いずれも教育、コミュニケーションの技能が要件である
 - ・ 連邦政府としては、募集時に学位を要求することができない。
- * 職員の grade は1～15 まであり、高いほど給料が上がる。Professional である librarian は grade 7 からスタートする(Cf. ノンプロフェッショナルは Grade 5)。通常は 9-11 の間で、Informationist は 13 である。grade を上がることは可能であるが grade により仕事の内容が異なるので同じ仕事をしている限り同じ grade にとどまることになる。最上位まで Career ladder を上り詰めたら他のポストに移らない限りそれ以上は給与もあがらない

NIH Clinical Center と一般の病院との違い:

- ・ 臨床研究の要件に合致した患者だけを受け入れている
- ・ 患者の病気はすでに他の病院で診断されており、NIH は 2 番目以降の病院となる
- ・ 患者は無料で治療が受けられ、旅費が支給され、研究に参加することに対する謝礼が支払われる。臨床研究は protocol (治療のレシピ) の開発を目的としている。
- ・ 図書館員はその protocol 開発に参加していることになる
(Cf. Current protocol は認可されると Consensus statement として Web に掲載される)
- ・ 網羅的な文献検索が求められ、特に否定的な結果の研究を逃してはいけない。
[Cf. 被験者が死亡した Johns Hopkins 大学では、IRB(Institutional Review Board)が文献検索のガイドライン*を詳細なものに改訂した。ただし、図書館員の助けについてはふれられていない]

* JHU SOM IRBs Guidelines for literature searches. Revised 04/2002.

<http://www.hopkinsmedicine.org/irb/jhmirb/Forms/LiteratureSearch.doc>

図書館見学 / Edwin Sunderland (Reference librarian)

- ・ 利用するデータベースは、EMBASE, Biological Abstracts, CINAHL, PsychInfo, Health and